

未来へ(東中だより)

第11号 令和4年9月30日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/

アンケート中間評価と全国調査の分析

調査結果をいかして

東中生みんなで頑張る

HGS!

H...表情豊かに よい挨拶!

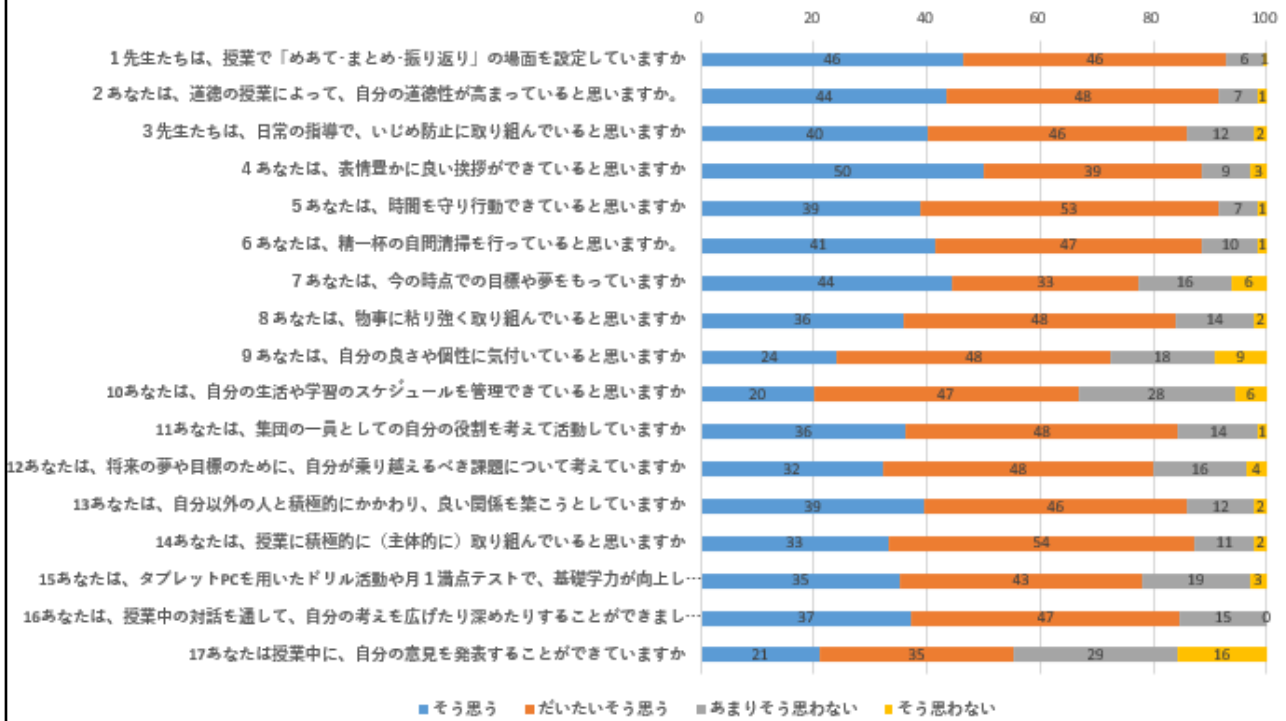
G...学力高める 時間の管理!

S...精一杯の 自問清掃!

学校評価(中間評価)のために、前学期の終わりに生徒アンケートをとりました。下のグラフは、その結果を集計したものです。青の部分(そう思う)とオレンジ色の部分(だいたいそう思う)の2つを合わせた部分が肯定的な結果だととらえます。

2番の道徳の授業で自分の道徳性が高まっていると思う生徒が92%であり、4~6番の挨拶・時間・清掃ができていると考える生徒がそれぞれ89%・92%・88%に至っていることは、生徒の落ち着いた生活や良いマナーにつながるものと受け止めています。また、14番の授業への積極的な取組が87%にのぼり、16番の対話的な学びによる深い学びが84%に伸びていることは、今後の学力向上に結び付くものと期待しています。

R4 よりよい学校づくりのための生徒アンケート(中間)



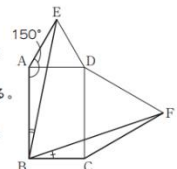
伸び悩んでいるものとしては、9番の自分の良さや個性への気づきと、10番の生活や学習のスケジュール管理、17番の授業中の意見発表があげられます。タイムマネジメント力を高めることや、表現力を高めることは、学力向上のみならず、将来仕事を行ううえでも大切なことですので、ぜひ意識して伸ばしてほしいと思います。

全国学力・学習状況調査(国・数・理)の結果ができました。本校の3年生は全体的にみると、全国・県の平均正答率を下回る結果でした。しかし、国語の「ウェブページにある資料の一部を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書く」問題では、県の平均を上回る正答率が見られました。記述式の問題での頑張り

調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

- ◇ $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。



- ◇ $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。

は、嬉しい結果でした。

数学でも連立二元一次方程式を解く問題は、全国・県の正答率を上回っていますが、「理由を説明する」問題では正答率が伸びませんでした。特に、「角 EBF の大きさがいつでも60度になることを説明する」問題は、無解答率が最も高く、正答率が最も低いものでした。実際に問題を見てみると、何が問われているのかを冷静にしっかりと読み取ることが大切な問題だと思いました。思考・表現の問題を解くには読解力が必要です。普段から難解と思われる文章問題にチャレンジし、粘り強く取り組んでほしいものです。

理科では、「分子モデルの図をもとに、水素の燃焼を化学反応式で表す」問題は、全国・県の正答率を超える結果でした。しかし、「考察の妥当性を高めるために、測定範囲の刻み幅をどのように増やすかを説明する」問題では、無解答や誤答が多くありました。また、領域では「エネルギーを柱とする」領域の正答率が低いので、しっかりと復習をする必要があります。

生徒質問紙では、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という問いに対し、71.1%の生徒が肯定的な答えをしていました。全国の67.1%よりも高い回答であり、学校教育目標の達成に近づいていると感じます。また、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」との問いに、全国よりも13.7ポイント高い46.2%が「当てはまる」と答えている（「どちらかといえば当てはまる」を含めると約70%）ことは、本校の職員として嬉しい結果でした。しかし、平日に3時間以上テレビゲーム(PC・スマホゲーム含む)をするという生徒が40%であり、2時間以上となると61.5%にのぼっていました。全国平均より10ポイント高い状況なので、ぜひ家庭で約束事を決めて、それを守る自律的な生活を行ってほしいと考えます。

$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの◇にある $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の□□□□に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明

グループで個人の考えを検討している場面

グラフが原点を通る直線になるので、比例すると考えます。

グラフは原点を通るけれど、直線にはならないので、比例しないと考えます。

測定値が足りないため、どちらの考えが妥当か判断できません。

(3) 正解題について、測定値をどのように増やせばよいか、【実験の計画】の「加える力の大きさを0から0.5Nずつ2.0Nまで変化させた」の部分を見直しなさい。

中体連地区新人大会

新チームの頑張り

9月20日の選手激励式で、車いすテニスの国枝慎吾選手が、今年の全豪・全仏・全英と3つの大会を制しており、次は全米を制して4大会制覇と行きたくったところ準優勝に終わったという話をしました。



38歳にして、4大会で単28回+複22回の優勝を誇るレジェンドは、「また達成できる楽しみができた」と言っていました。その国枝選手は、ラケットに「おれは最強だ」と書いているということです。サーブの前に「ダブルフォルトになるんじゃないか」という不安を拭い去るための試みだそうです。

生徒のみなさんもプレーの前に不安が心に入り込んできたら、「自分はできる」と自分に言い聞かせ、全力で試合をしてきてくださいと伝えました。

9月24日の新人大会の結果、女子卓球部が優勝旗を持ち帰ることができました。しかし、他の部活動でも惜しい試合展開がありました。それぞれが今もっている力を精一杯出して頑張ったと思います。「捲土重来」夏の栄光を目指して、練習を重ねてほしいと思います。

10月1日には、ソフトテニスの新人大会、10月6日には、地区駅伝大会があります。健闘を祈ります。

昔懐かしい紙芝居登場

毎月1回の楽しい「ましろの会」の読み聞かせですが、9月13日の1年生の教室では、紙芝居の形式で行われました。名作「おだんごころ」を、まさか紙芝居で視聴するとは生徒も思っていなかったのでしょうか。目を見張って聴いていました。



☆今後の予定☆

- 10/1(土) 地区中体連新人大会(ソフトテニス)
- 10/3(月) 各部委員会
- 10/5(水) 生徒集会
- 10/6(木) 地区駅伝大会 フッ化物洗口
- 10/7(金) 安全点検日
- 10/11(火) 課題テスト・SAGA テスト
- 10/12(水) 課題テスト・SAGA テスト
交通安全教室
- 10/13(木) フッ化物洗口
- 10/17(月) 3年修学旅行(～19)
2年職場体験学習(～18)